

コロナ下の組織運営④

今を『標準』にさらに進化

東京鉄構工業協同組合

理事長 吉岡 晋吾氏

その人口密度、活発な社会・経済活動など昼夜問わず人の往来が絶えない東京。ただ、その利点も今回のマイナスに作用した。そのために東京鉄構工業協同組合(組合員46社)は、全国の鉄構組合の中でも慎重な事業活動を余儀なくされたが、「中止となつた昨年の総会以降は、万全な感染対策を取りつつ、講習会や地区会など何とか本来の事業の姿を取り戻す努力をしてきた」という。

3 密回避策として会議

「今後の在り方としてコロナに関係なく今の姿を『標準』としたい。対面の会議に都合で参加不可の組合員はリモート参加できるよう、これをさらに進化させたい」との意向を示す。当面はHPを媒体に発信の強化を検討中にある。

「東京は関心が集まる地区。どこまで実現可能なのか分からないが、模範となるよう、期待に添えるよう頑張りたい」と語る。

(吉岡工業社長)

